

1. 究極の選択：パラメータか、法線か

空間図形の問題を解くとき、「パラメータ表示」で攻めるか、「法線ベクトル」で攻めるかの選択が運命を分ける。それぞれの得意分野（守備範囲）を理解しよう。

A. パラメータ表示

- $\vec{p} = \vec{a} + s\vec{u} + t\vec{v}$
- 視点：平面上を「歩く」
- 得意：
 - 平面上の点の表現
 - 直線と平面の交点
 - 三角形や領域の内部判定
- 計算：連立方程式（係数比較）

VS

B. 法線ベクトル

- $\vec{n} \cdot (\vec{p} - \vec{a}) = 0$
- 視点：平面を「貫く・固定する」
- 得意：
 - 点と平面の距離
 - 平面の方程式
 - 対称点・垂直条件
- 計算：内積ゼロ

使い分けの鉄則

- (1) 交点を求めたいとき \Rightarrow パラメータ表示（直線上の点 = 平面上の点）
- (2) 距離・垂直・角度を扱いたいとき \Rightarrow 法線ベクトル（方程式・正射影）
- (3) 体積を求めるとき \Rightarrow 法線ベクトルで「高さ」を求めるのが近道。

例題 1

点 A(0, 1, 2) から、3 点 O(0, 0, 0), B(2, 1, 0), C(1, 2, 2) を通る平面 α に下ろした垂線の足 H の座標を求めよ。

Memo / Answer

【解法 A：パラメータ】 $\vec{OH} = s\vec{OB} + t\vec{OC}$ とおき、 $\vec{AH} \perp \vec{OB}, \vec{AH} \perp \vec{OC}$ を解く。

【解法 B：法線（推奨）】 法線 \vec{n} を求め、直線 $AH \parallel \vec{n}$ として H を直線上の点として表し、平面の方程式に代入する（交点計算）。

2. 法線ベクトルの決定（基本）

法線ベクトル $\vec{n} = (a, b, c)$ を求めるには、平面上の 2 つのベクトル \vec{u}, \vec{v} との内積が 0 になることを利用する。未知数 3 つに対して式は 2 つなので、比を求ることになる。

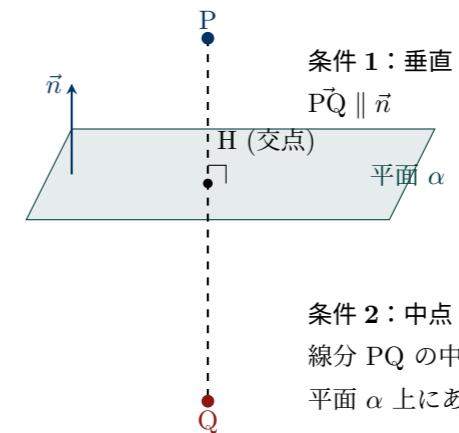
例題 2

$\vec{u} = (1, 2, -1), \vec{v} = (2, -1, 3)$ の両方に垂直なベクトル \vec{n} を 1 つ求めよ。

Memo / Answer

3. 平面に関して対称な点

点 P と平面 α に関して対称な点 Q を求める問題は、法線ベクトルの絶好の練習台である。



条件 1：垂直

線分 PQ の中点 H が
平面 α 上にある

例題 3

点 $P(2, 3, 4)$ と、平面 $\alpha : x - 2y + 2z - 9 = 0$ に関して対称な点 Q の座標を求めよ。

Memo / Answer

4. 四面体の体積（座標型）

4 点の座標から体積を求める問題は、記述式試験で最も差がつくテーマの一つ。「法線 → 方程式 → 距離 → 高さ」の流れをマスターしよう。

体積を求める手順

四面体 OABC の体積 V

(1) 底面積 $S_{\triangle OAB}$ を求める。

$$S = \frac{1}{2} \sqrt{|\vec{a}|^2 |\vec{b}|^2 - (\vec{a} \cdot \vec{b})^2}$$

(2) 平面 OAB の法線ベクトル \vec{n} を求める。

(3) 点 C から平面 OAB への距離 h を求める。

$$h = \frac{|\vec{n} \cdot \vec{OC}|}{|\vec{n}|} \quad (\text{または点と平面の距離公式})$$

(4) $V = \frac{1}{3} Sh$

例題 4

3 点 A(1, 0, 0), B(0, 2, 0), C(0, 0, 3) を通る平面を α とする。原点 O から平面 α に下ろした垂線の長さを h とし、四面体 OABC の体積を V とする。 h と V を求めよ。

Memo / Answer

総合演習 A (標準)

練習 A1

点 $A(1, 2, 3)$ を通り、ベクトル $\vec{d} = (2, -1, 2)$ に平行な直線を l とする。点 $P(0, 5, 5)$ から直線 l に下ろした垂線の足 H の座標を求めよ。

練習 A2

点 $A(3, 2, 1)$ と、平面 $\alpha : x + y + z = 0$ に関して対称な点 B の座標を求めよ。

Memo / Answer

総合演習 B (応用)

練習 B1

座標空間に 4 点 $O(0, 0, 0), A(1, 1, 0), B(0, 1, 1), C(1, 2, 3)$ がある。

- (1) 平面 OAB の方程式を求めよ。
- (2) 点 C から平面 OAB に下ろした垂線の長さ h を求めよ。
- (3) 四面体 $OABC$ の体積 V を求めよ。

練習 B2

定点 $A(0, 0, 2)$ と、平面 $z = 0$ (xy 平面) 上を動く点 P 、および平面 $x = 0$ (yz 平面) 上を動く点 Q がある。 $\triangle APQ$ が正三角形となるとき、四面体 $OAPQ$ の体積を求めよ。ただし O は原点とする。

Memo / Answer

総合演習 A (標準) 【解答】

練習 A1

$A(1, 2, 3), \vec{d} = (2, -1, 2)$ の直線 l 。 $P(0, 5, 5)$ からの垂線 H 。

Memo / Answer

点 H は直線 l 上にあるので、実数 t を用いて $H(1+2t, 2-t, 3+2t)$ とおける。 $\vec{PH} = \vec{OH} - \vec{OP} = (1+2t, -3-t, -2+2t)$ $\vec{PH} \perp \vec{d}$ より内積が 0。 $2(1+2t) - 1(-3-t) + 2(-2+2t) = 0$
 $2+4t+3+t-4+4t=0$ $9t+1=0 \Rightarrow t=-\frac{1}{9}$ 座標に代入して $x=1-\frac{2}{9}=\frac{7}{9}$
 $y=2-(-\frac{1}{9})=\frac{19}{9}$ $z=3-\frac{2}{9}=\frac{25}{9}$ 答 $H(\frac{7}{9}, \frac{19}{9}, \frac{25}{9})$

練習 A2

$A(3, 2, 1)$ と 平面 $x+y+z=0$ に関して対称な点 B

Memo / Answer

平面の法線ベクトルは $\vec{n} = (1, 1, 1)$ 。直線 $AB \parallel \vec{n}$ より $\vec{AB} = k\vec{n}$ とおける。 $B(x, y, z)$ とすると $(x-3, y-2, z-1) = (k, k, k)$ 。 $B(k+3, k+2, k+1)$ 線分 AB の中点 M は $M(\frac{k+6}{2}, \frac{k+4}{2}, \frac{k+2}{2})$ M は平面上にあるので $\frac{k+6}{2} + \frac{k+4}{2} + \frac{k+2}{2} = 0$ $3k+12=0 \Rightarrow k=-4$ よって $B(-4+3, -4+2, -4+1) = (-1, -2, -3)$ 答 $B(-1, -2, -3)$

総合演習 B (応用) 【解答】

練習 B1

$O(0, 0, 0), A(1, 1, 0), B(0, 1, 1), C(1, 2, 3)$

Memo / Answer

- (1) 平面 OAB の法線 $\vec{n} = (a, b, c)$ を求める。 $\vec{OA} = (1, 1, 0), \vec{OB} = (0, 1, 1)$ $\vec{n} \cdot \vec{OA} = a+b=0 \Rightarrow a=-b$ $\vec{n} \cdot \vec{OB} = b+c=0 \Rightarrow c=-b$ $b=-1$ とすると $a=1, c=1$ なので $\vec{n} = (1, -1, 1)$ 。原点を通るので答 $x-y+z=0$
- (2) 点 $C(1, 2, 3)$ と平面 $x-y+z=0$ の距離 h $h = \frac{|1-2+3|}{\sqrt{1^2+(-1)^2+1^2}} = \frac{2}{\sqrt{3}}$ 答 $\frac{2\sqrt{3}}{3}$
- (3) $\triangle OAB$ の面積 S $|\vec{OA}| = \sqrt{2}, |\vec{OB}| = \sqrt{2}, \vec{OA} \cdot \vec{OB} = 1$ $S = \frac{1}{2}\sqrt{2 \cdot 2 - 1^2} = \frac{\sqrt{3}}{2}$
 $V = \frac{1}{3}Sh = \frac{1}{3} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot \frac{2}{\sqrt{3}} = \frac{1}{3}$ 答 $\frac{1}{3}$

練習 B2

$A(0, 0, 2), P(p_1, p_2, 0), Q(0, q_2, q_3)$

Memo / Answer

$AP = AQ = PQ$ という条件から座標を決定する。 $AP^2 = p_1^2 + p_2^2 + 4$ $AQ^2 = q_2^2 + q_3^2 + 4$
(ここで $x=0$ より $q_1=0$) $PQ^2 = p_1^2 + (p_2 - q_2)^2 + q_3^2$ これらを連立し、さらに面積を計算するが、記述欄の都合上、指針のみ。